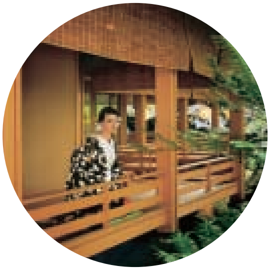


第41期

中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

ワタベウェディングは、「世界最高のブライダル企業を目指します」

経営基本理念

わたくしたちの目的は、
真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、
心豊かな社会の実現に
貢献することにある。

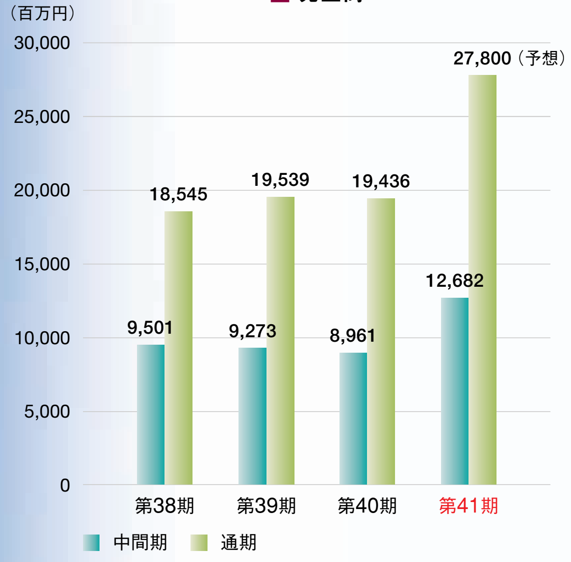
理念に基づく企業戦略

世界の花嫁に
「トータル・ブライダル・ソリューション」
を提供する

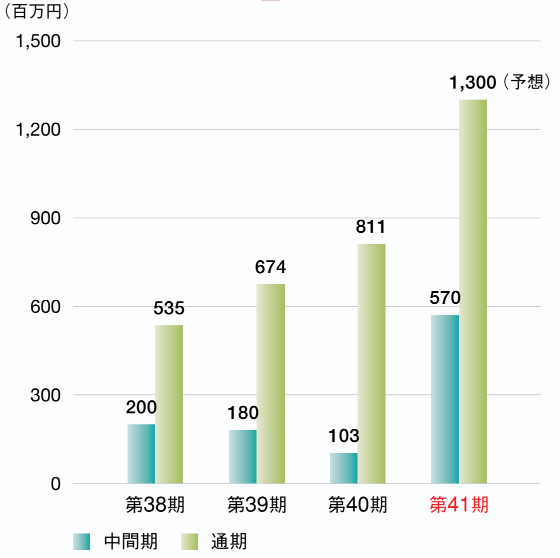
トータル・ブライダル・ソリューションとは
ブライダルにおける全アイテムをお客様の立場でコーディネイトし、
システム化してソリューションを提供することです。

財務ハイライト（連結）

■ 売上高

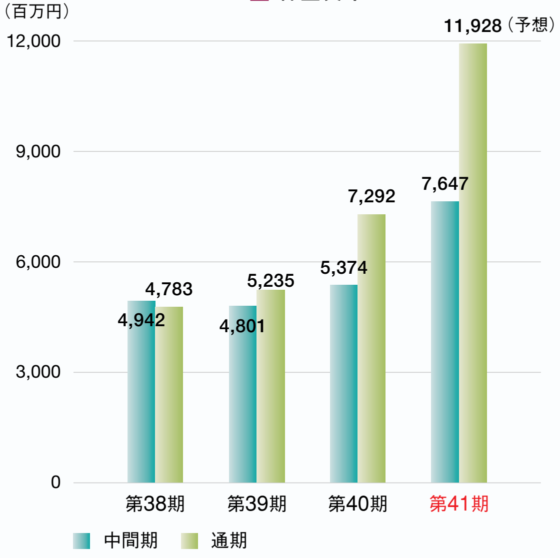


■ 純利益



■ 総資産

■ 株主資本



株主の皆さまへ

オーストラリア「アヴィカ・ウェディング&リゾート」内
「アヴィカ・スパ」オープニングセレモニーにて
平成16年5月26日

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の婚姻届出組数の減少と国際情勢不安など業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。そのような中、当社グループはすてきな生活文化の創造・提案を実現できる「商品の造成」や「事業開発」に注力してまいりました。

今後は特にリゾートウェディングを中心とした国内挙式事業への取組みを強化し、国内挙式マーケットでのシェアアップを図ってまいります。また、海外挙式事業においても海外でのローカルウェディング、特に中国市場での展開を軸にグローバル化を加速するとともに、成長に向けた更なる構造改革と基盤整備を進めてまいります。

私どもは、これまで築き上げた実績と50年という歳月の中で、多くのカップルやそのご家族の幸せをお手伝いしてきた経験からくる安心と信頼のネットワークをフルに活用し、突発的なリスク発生時にも耐えうる経営体質の強化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

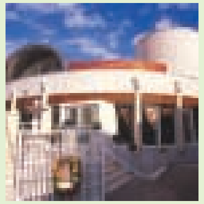
代表取締役社長　渡部隆夫

事業紹介 –すてきな生活文化を提案するワタベワールド–

海外挙式サービス

国内54店舗、海外18店舗のグローバルネットワークで海外12ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。「日本人を海外へ」から「海外の人が現地で」、「海外の人を日本へ」と対象を拡大中。

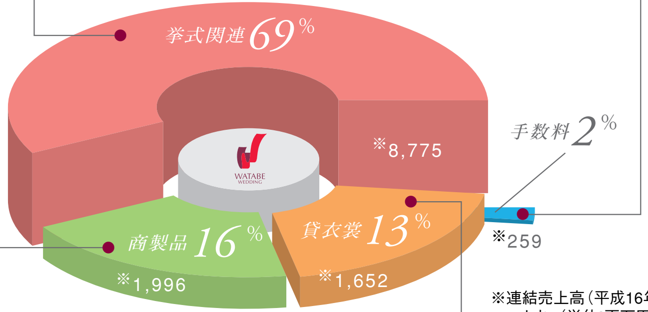
国内挙式サービス



挙式スタイルの新提案としてのリゾートウェディングや都市型ウェディングに対応するため沖縄から北海道まで国内13ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。

手数料

国内店舗で挙式者、列席者の旅行（国内、海外）を斡旋、手配。引出物やブライダル関連商品の斡旋や他社施設への顧客紹介（送客）を実施。



※連結売上高（平成16年9月中間期）を示しています。（単位:百万円）

商製品

ドレスは「借りる」から「購入する」スタイルの提案。上海工場（「ISO9001」認証取得）製造の高品質・高付加価値ウェディングドレスを中心に、タキシード、アクセサリー等を店舗にて販売。ウェディングドレスはOEM供給も行う。

衣裳レンタル

和装中心の婚礼衣裳や列席者用衣裳を低価格でレンタル。打掛、留袖はカタログで予約できるサービスも実施。国内店舗で海外着用のウェディングドレスを試着、予約できるサービスも好評。

写真サービス

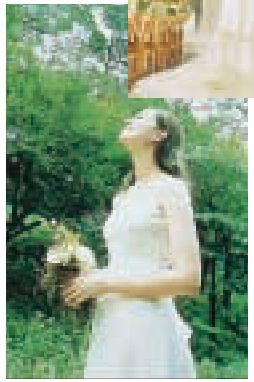
挙式日前後の婚礼写真撮影や、成人式、卒業式、七五三などの記念写真撮影を貸衣裳、美容・着付とセットにしたオリジナルフォトサービスを提供。

特集 −目黒雅叙園の子会社化について−

当社は、平成16年5月1日に結婚式場目黒雅叙園の運営会社である株式会社目黒雅叙園の株式を66%取得し、経営権を獲得しました。平成17年1月31日に残りの株式を取得することにより、目黒雅叙園は完全子会社となる予定です。

■日本の伝統美と西洋のモダン性を融合した目黒雅叙園

昭和3年純日本式料亭として創業した目黒雅叙園は、昭和13年に日本初の総合結婚式場としてそのスタイルを確立、当時から女性たちの憧れの地でした。平成3年には地上8階地下2階の大型ホテルに新築新装オープン。現在はブライダル事業を中心に、企業利用をはじめとする一般宴会事業、宿泊事業、レストラン事業を展開しています。



事業構成

※ パーセントは売上高構成比を示しています。

特筆すべきは、もう二度と同じものが作られることは無いであろう贅を尽くした建造物の持つハードの魅力です。国の登録有形文化財に指定された「百段階段」をはじめ、回廊の天井に描かれた日本画や木の彫刻など館内の至るところに"昭和の竜宮城"が息づいています。

■成長し続ける目黒雅叙園3つのビジネス戦略

現在目黒雅叙園では、当社グループの一員として新たな営業強化策を講じています。主力のブライダル事業を核に、一般宴会事業、宿泊事業、レストラン事業が更なる相乗効果を生み出すよう、新商品・新サービスの投入に注力することにより、今期1,300組、来期1,600組の挙式取扱いを目指します。

1 当社グループと目黒雅叙園の融合による新商品開発

平成16年7月1日より、当社グループが有する海外・国内のリゾート施設での挙式と目黒雅叙園における披露宴を合わせた婚礼プラン「リゾートマリアージュ」を商品化し、販売を開始しました。また、当社で人気のオリジナルフォトプランに目黒雅叙園の多彩なロケーションを組み合わせた新しい写真サービスの展開や、従来レンタルドレスのみのご提供であった衣裳サービスに、「その方のためだけにお仕立てする」サイズオーダードレスの販売を加えるなど、お客様の多種多様なニーズに対応する新商品の開発に取組んでいます。

2 華道家 假屋崎省吾氏と目黒雅叙園の融合「花の世界」

ウェディングシーンには欠かせない「花」に着目し、現在多方面でご活躍中の華道家　假屋崎省吾氏と共に、来年迎える目黒雅叙園創業77周年を記念して新しい婚礼の形を皆様にご提案。目黒雅叙園の建物に假屋崎氏ならではの花の世界が融合することにより、独創的な婚礼プランを創り上げます。

3 施設順次リニューアルによる更なる魅力の向上

平成16年8月、宴会場「華しずか」と、「グリーンチャペル」を相次いでリニューアルしました。10月にはショウルームだけで約400m²と、国内最大規模の衣裳サロンを誕生させます。来年にも、宴会場を順次リニューアル。京都の企業ならではの"おもてなしの心"と"和の伝統"が目黒雅叙園で一体化することにより総合的な魅力の向上を図ります。

■当社グループ国内挙式事業の強化・拡大の即戦力

グループ化の強み

- Ⓐ 国内挙式取扱い組数の増加
- Ⓑ バランスの取れた収益構造
- Ⓒ 事業の相乗効果と情報共有

Ⓐ 今期は前期比284%増の4,000組の国内挙式取扱い組数を目指します

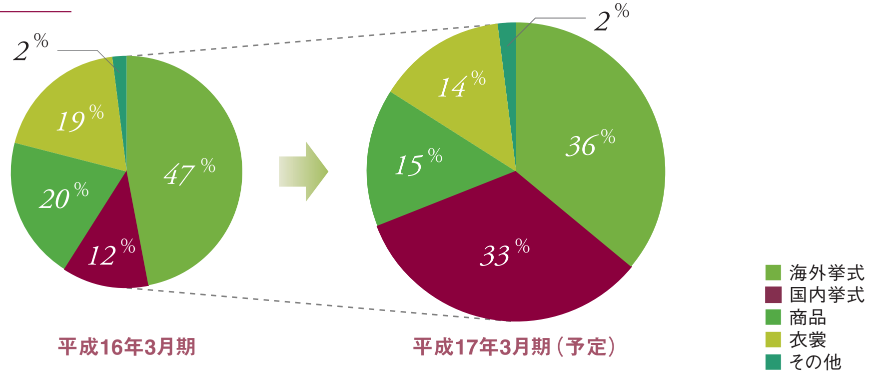
目黒雅叙園は、壁、床、天井に至るまで丹念に仕上げられた伝統と格式を備えた日本を代表する結婚式場であり、当社グループがブライダルビジネスの勝ち組に残るための戦略的価値を有する施設です。

そのハードを活用しての新しい結婚文化、すなわち「すてきな」結婚文化の提案を行うことにより、今期グループ全体で4,000組の国内挙式取扱い組数を目指します。

Ⓑ 国内挙式サービスの強化により収益構造の改革を図る

平成16年3月期連結売上高194億円のうち、国内挙式サービスが占める割合が12%に対し、目黒雅叙園子会社化後の今期連結売上高は、前期比143%増の278億円で、うち国内挙式サービス33%を見込んでいます。それぞれの事業がそれぞれに収益の柱として機能するよう一層の改革を行ってまいります。

グループ全体の売上高構成比



平成16年3月期　　平成17年3月期（予定）

Ⓒ 事業の相乗効果と情報共有

当社グループの強みを活かした新しい挙式スタイルの提案を行うことで相乗効果を図ります。また、目黒雅叙園を“シティリゾート”と位置づけ、当社グループが展開する拠点ネットワークを活用し販路を拡げることにより従来の関東圏から一気に全国区のマーケットニーズを獲得することができます。一方で、目黒雅叙園はブライダルのワンストップショップとして国内随一の拠点であり、そのノウハウ・実績を情報共有しグループ内で活用することで、今後の新拠点展開のハード・ソフト作りに役立てます。

■国内挙式サービスの視点から見る当社のグループ戦略

※は平成16年下期以降にオープン予定です。

今期目黒雅叙園の売上堅調と平成16年にオープンした沖縄、函館など国内挙式施設の順次開設と施設利用率向上により国内挙式サービスの収益が大幅に増加しました。下期以降もヒルトン小田原や軽井沢といったリゾート型挙式施設の開設を予定しています。今後も当社グループは、主力の海外挙式事業で培ったノウハウを国内挙式事業で発揮すべく、トータル・ブライダル・ソリューションの推進に注力してまいります。

ヒルトン小田原リゾート&スパと業務提携

当社グループは、「ヒルトン小田原リゾート&スパ」を運営する小田原ヒルトン株式会社と婚礼事業全般において業務提携し、挙式・披露宴のプロデュース・販売・運営を行っています。平成16年10月16日、同ホテル内に「海・光・風・緑・音」をテーマに掲げ、海の見える全面ガラス張りの独立型チャペル「クリスタル グレイス チャペル」をオープン。相模湾を一望する圧倒的なスケールで広がる海と空を眼前に、祭壇の滝の中から指輪を取りだす演出も可能なリゾート感あふれるチャペルです。小田原は、箱根の連なる山々と相模湾の豊潤な海に、歴史と近代の文化の面影が同居する街であり、アクセスも東京より1時間、名古屋より1.5時間と交通の便に恵まれたリゾートとして絶好のロケーションを活かし、首都圏や中部・関西圏からの婚礼マーケットの獲得を図ります。また、世界有数のヒルトンホテルの高いスタンダードと、当社グループの持つウェディングにおけるノウハウやサービス・ネットワークとを融合させる事で、お客様に上質のサービスをご提供します。なお、ヒルトンホテルとワタベウェディングは、グアムヒルトンにおいて婚礼事業の業務提携を行っておりますが、国内では初めてとなります。

軽井沢・現地ブライダルサロン・オープン

当社は、平成17年春、国内リゾートウェディングの中核施設として軽井沢に複合型挙式施設「軽井沢クリークガーデン」をオープンします。軽井沢は、国内リゾートウェディング最多の約7,000組のカップルが挙式をしている人気の高いリゾートウェディング憧れの地で、その文化・自然の魅力を最大限に活かした新ウェディングを提案します。平成16年7月から建設予定地に「軽井沢ブライダルサロン」を開設し、ご相談の受付けを開始しました。

軽井沢建設予定地:ブライダルサロン外観

「カーニバルタイムズ」直営挙式会場に!

当社は、京都市の有形文化財に指定された鴨川畔のレストラン「カーニバルタイムズ」の営業権を譲り受け、平成16年7月1日より直営挙式会場(京都2ヶ所目、国内では13ヶ所目)として運営することとなりました。

今後京都において幅広いお客様のニーズにお応えすることが可能となるとともに、当社国内挙式事業の一層の充実を図るものです。

タヒチウェディングサービス販売開始

当社グループは、2004年9月、近年海外挙式の候補地として注目を集めている南太平洋エリア初の拠点としてタヒチに店舗をオープンし、ウェディングサービスを開始しました。タヒチへの日本人渡航者は年間で約24,000人、うち約90%をハネムーナーが占めていますが、年間の挙式件数は約250件とハネムーナーの約2%に留まっています。挙式会場が少なく高額であることや、情報不足が要因に挙げられますが、今年4月20日より日本航空とエアタヒチヌイ航空の共同運航便が就航し、今後多様な旅行パッケージの造成が見込まれることと当社グループの出店で挙式に対するきめ細かい情報提供が可能になることで、今後大幅な挙式件数の増加が見込まれます。

オリジナルウェディングドレス「アヴィカ」

当社グループは、年間約3万人の花嫁に心を込めて、「その方のためだけに」お仕立てする高品質のウェディングドレス「アヴィカ」をご提供しています。当中間期では、「アヴィカ」13型、タキシード「アヴィカ・オモ」3型の新作を発表し、デザインの豊富さでも多くの支持を得ています。国際品質基準「ISO9001」認証を受けた中国・上海の直営工場で生産しており、創業時(1993年)わずか16名だった従業員数も現在500名を超え、事業規模・生産性・技術習熟度・人材マネジメント能力ともに、実績とノウハウを拡大・蓄積し続けています。また、中国進出を図る日系企業の注目度も高く、ひと月に20組以上の視察団が訪れるなど、模範工場として高い評価を受けています。

トピックス

花園飯店内上海市民の結婚式風景

中国初挙式事業の展開
オークラガーデンホテルと提携出店

中国の都市部では、急激な経済発展を背景に個人消費額が上昇し、挙式、披露宴スタイルも除々に変化してきています。従来中国内での結婚式披露宴は市内のレストラン等で行われるのが一般的でしたが、経済発展に伴う外資系ホテルの急激な進出等でホテル利用が日常化する事により、ホテルでの高品質なサービスによる結婚式を望む需要層が拡大しています。

こうした中、平成16年5月、当社は上海の最高級5つ星ホテル「花園飯店上海（オークラガーデンホテル上海）」と婚礼運営に関する業務提携を行い、平成16年11月、同ホテル内に中国のお客様を対象とした中国初の総合ブライダルショップをオープンしました。中国における婚礼マーケットは年々拡大するものと推測され、中国の伝統文化と日本の婚礼文化を融合させ、中国の婚礼文化に新しい挙式スタイルを提案していきます。また今後は、海外挙式の候補地としての成長も期待できます。

営業報告

当中間期のわが国経済は、前年より引続き着実に回復軌道をたどり好調に推移しております。需要不足は解消されつつあり、デフレ脱却も間近で、経済成長率も大幅に上方修正されております。しかしながら雇用はパート労働への切替え等により賃金は伸び悩み、一般消費動向は先行き不透明であります。

当ブライダル業界におきましては、団塊ジュニアの結婚ピークが過ぎ、更に、晩婚化と婚姻率の低下による婚姻組数の減少が見込まれ各社対応を迫られております。

このような経営環境のなか、当社グループは十人十色、百人百様と個性化、多様化しているお客様のニーズにお応えするために、いろいろな価値観の商品化を目指してトータル・ブライダル・ソリューションの戦略展開を進めてまいりました。

国内挙式増強戦略といたしましては、リゾートウェディングの提案を更に強化しております。平成16年4月、沖縄県恩納村の万座ビーチホテルに「アクアルーチェ・チャペル」を開堂し、海外挙式のテイストを備えた国内挙式を提案、引続き同年6月、函館港に面した赤レンガ倉庫群にクラシカルな赤レンガ造りの「ステラマリス・チャーチ」を備える挙式施設「アフィーテ函館」を開設いたしました。

また、平成16年5月には東京都目黒区の結婚式場「目黒雅叙園」の経営権を取得し、シティリゾートとして、また一ヶ所で総合的なブライダルサービスを提供することのできる一大ソリューションプレイスとして、新しい結婚式の生活文化の提案を進めております。平成16年7月には、京都における挙式会場増強の一環として、京都市上京区の大正時代に建築された洋館内レストラン「カーニバルタイムズ」の営業権を譲受し、運営を始めました。

海外挙式戦略といたしましては、平成16年9月に南太平洋の楽園タヒチに出店し、環太平洋エリアでの選択肢の拡大に努めました。

店舗展開戦略といたしましては、平成16年4月に石川県金沢市に北陸地方進出第1号店として「金沢店」を開設、同年9月には広島店を移転増床し、中国地方における総合ブライダルショップの旗艦店「広島グランドプラザ」を開設、トータル・ブライダル・ソリューションの実践強化に努めております。また、同じく9月に高級オーダーウェディングドレスショップとして「ビアンキ スポージ広島店」をリーガロイヤルホテル広島内に開設し、中国・四国地方のお客様への提供を開始いたしました。

以上のような施策展開の結果、当中間期の業績は、売上高12,682百万円（前年同期比41.5%増）、経常利益760百万円（同240.1%増）、中間純利益570百万円（同450.9%増）となりました。

なお、本年度のブライダルマーケットにおける婚姻届出組数は72万組程度と推測されます。また、海外挙式組数は回復途上にあり、年間4万5千組程度と予測しております。

当社グループは引続きトータル・ブライダル・ソリューションの品質を高め、お客様満足度の向上を図り、国内・海外ともに感動あふれる挙式の提案に取組んでまいります。

財務諸表の概要（連結）

中間連結貸借対照表（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年9月30日現在）	前中間期（平成15年9月30日現在）	前期（平成16年3月31日現在）
（資産の部）			
流動資産	**6,196**	**4,168**	**5,110**
現金及び預金	3,876	2,396	3,307
売掛金	948	713	728
たな卸資産	583	519	487
前払費用	442	256	289
未収入金	102	112	163
繰延税金資産	242	144	118
その他	52	36	30
貸倒引当金	△ 52	△ 10	△ 14
固定資産	**11,663**	**8,736**	**10,224**
1 **有形固定資産**	**7,514**	**5,584**	**6,551**
貸衣裳	218	111	130
建物及び構築物	3,937	2,925	3,432
器具備品	1,053	858	833
土地	1,763	1,231	1,763
その他	541	457	390
無形固定資産	**207**	**149**	**157**
投資その他の資産	**3,941**	**3,001**	**3,514**
投資有価証券	584	372	929
長期前払費用	310	394	324
差入保証金	2,443	1,567	1,739
繰延税金資産	111	175	33
再評価に係る繰延税金資産	364	364	364
その他	389	385	379
貸倒引当金	△ 262	△ 258	△ 256
資産合計	**17,860**	**12,905**	**15,334**

科目	当中間期（平成16年9月30日現在）	前中間期（平成15年9月30日現在）	前期（平成16年3月31日現在）
（負債の部）			
流動負債	**7,465**	**5,339**	**4,936**
買掛金	1,281	944	931
短期借入金	889	650	196
1年以内返済予定長期借入金	1,187	929	799
未払金	1,108	368	531
前受金	2,091	1,762	1,548
賞与引当金	265	123	174
その他	641	560	754
固定負債	**2,558**	**2,191**	**3,105**
長期借入金	1,809	1,636	2,496
退職給付引当金	148	34	45
役員退職慰労引当金	316	300	308
その他	283	220	255
負債合計	**10,023**	**7,530**	**8,042**
（少数株主持分）	**189**	**–**	**–**
少数株主持分	189	–	–
（資本の部）			
2 **資本金**	**2,307**	**1,754**	**2,263**
2 **資本剰余金**	**2,170**	**1,618**	**2,127**
利益剰余金	**3,510**	**2,422**	**3,059**
土地再評価差額金	**△ 524**	**△ 524**	**△ 524**
その他有価証券評価差額金	**256**	**128**	**457**
3 **自己株式**	**△ 0**	**–**	**–**
為替換算調整勘定	**△ 72**	**△ 24**	**△ 90**
資本合計	**7,647**	**5,374**	**7,292**
負債、少数株主持分及び資本合計	**17,860**	**12,905**	**15,334**

中間連結損益計算書（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）	前中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）	前期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）
4 売上高	12,682	8,961	19,436
売上原価	4,676	3,629	7,661
売上総利益	**8,005**	**5,332**	**11,775**
5 販売費及び一般管理費	7,347	4,934	9,994
営業利益	**658**	**397**	**1,780**
営業外収益	134	48	81
営業外費用	32	222	368
経常利益	**760**	**223**	**1,493**
6 特別利益	317	34	49
特別損失	68	–	54
税金等調整前中間（当期）純利益	**1,009**	**258**	**1,488**
法人税、住民税及び事業税	440	159	702
法人税等調整額	△ 38	△ 4	△ 24
少数株主利益	37	–	–
中間（当期）純利益	**570**	**103**	**811**

中間連結剰余金計算書（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）	前中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）	前期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）
（資本剰余金の部）			
資本剰余金期首残高	**2,127**	**1,618**	**1,618**
資本剰余金増加高	**43**	**–**	**509**
資本剰余金中間期末（期末）残高	**2,170**	**1,618**	**2,127**
（利益剰余金の部）			
利益剰余金期首残高	**3,059**	**2,388**	**2,388**
利益剰余金増加高	**570**	**103**	**811**
利益剰余金減少高	**120**	**70**	**140**
利益剰余金中間期末（期末）残高	**3,510**	**2,422**	**3,059**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）	前中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）	前期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,012**	**309**	**1,460**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,125**	**△ 664**	**△ 2,130**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**357**	**100**	**1,349**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**32**	**△ 24**	**△ 46**
現金及び現金同等物の増減額	**277**	**△ 278**	**632**
現金及び現金同等物の期首残高	**3,307**	**2,675**	**2,675**
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	**3,584**	**2,396**	**3,307**

point 1

目黒雅叙園の子会社化による増加に加え、挙式施設、営業店舗の新設等で前年同期比1,930百万円増加しました。

point 2

平成16年1月の公募増資により、資本金、資本準備金がそれぞれ509百万円増加しました。また、平成16年8月以降ストックオプションの行使により、それぞれ44百万円増加しました。

point 3

単元未満株式の買取りによるものです。株主総会、取締役会決議による取得はありません。

point 4

海外挙式の復調や、国内挙式の伸長、目黒雅叙園の子会社化等により大幅に増加しました。

point 5

挙式施設の新設や子会社化の増加により人件費や賃借料が大幅に増加しました。

point 6

保有有価証券の一銘柄が上場し、その一部を売却したため売却益314百万円を計上しております。

財務諸表の概要（単体）

中間貸借対照表（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年9月30日現在）	前中間期（平成15年9月30日現在）	前期（平成16年3月31日現在）
（資産の部）			
流動資産	**3,838**	**3,752**	**3,991**
現金及び預金	1,876	1,748	2,507
売掛金	880	612	627
たな卸資産	213	158	136
その他	1,367	1,241	734
1 貸倒引当金	△ 500	△ 8	△ 13
固定資産	**11,695**	**8,612**	**10,315**
有形固定資産	**6,293**	**4,705**	**5,736**
貸衣裳	174	80	103
建物及び構築物	3,498	2,619	3,077
器具備品	581	496	555
土地	1,730	1,197	1,730
その他	308	312	269
無形固定資産	**117**	**108**	**121**
投資その他の資産	**5,283**	**3,797**	**4,457**
投資有価証券	1,586	997	1,579
差入保証金	2,103	1,284	1,444
その他	2,047	2,224	2,299
1 貸倒引当金	△ 454	△ 708	△ 865
資産合計	**15,533**	**12,364**	**14,307**

科目	当中間期（平成16年9月30日現在）	前中間期（平成15年9月30日現在）	前期（平成16年3月31日現在）
（負債の部）			
流動負債	**5,816**	**4,692**	**4,142**
買掛金	1,195	1,067	955
1年以内返済予定長期借入金	1,187	907	799
前受金	1,698	1,672	1,421
その他	1,734	1,045	965
固定負債	**2,323**	**2,096**	**2,982**
長期借入金	1,809	1,636	2,496
退職給付引当金	49	33	43
その他	464	426	443
負債合計	**8,139**	**6,789**	**7,125**
（資本の部）			
資本金	**2,307**	**1,754**	**2,263**
資本剰余金	**2,170**	**1,618**	**2,127**
利益剰余金	**3,183**	**2,599**	**2,859**
土地再評価差額金	**△ 524**	**△ 524**	**△ 524**
その他有価証券評価差額金	**256**	**127**	**456**
自己株式	**△ 0**	**–**	**–**
資本合計	**7,393**	**5,575**	**7,182**
負債及び資本合計	**15,533**	**12,364**	**14,307**

中間損益計算書（単位:百万円）

科目	当中間期（平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで）	前中間期（平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで）	前期（平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで）
売上高	8,273	7,186	15,304
売上原価	4,089	3,595	7,524
売上総利益	**4,183**	**3,591**	**7,779**
販売費及び一般管理費	3,914	3,272	6,602
営業利益	**269**	**318**	**1,177**
営業外収益	304	266	291
2 営業外費用	24	203	328
経常利益	**549**	**382**	**1,139**
特別利益	314	34	49
特別損失	165	161	388
税引前中間（当期）純利益	**698**	**256**	**800**
法人税、住民税及び事業税	331	82	440
法人税等調整額	△ 76	△ 34	△ 177
中間（当期）純利益	**443**	**207**	**537**
前期繰越利益	460	407	407
中間配当額	–	–	70
中間（当期）未処分利益	**904**	**614**	**875**

point 1

子会社に対する固定の引当を、平成17年1月を期日とする合併を決議したため、流動に変更しました。

point 2

デリバティブの時価評価洗替により、前中間期に比して減少しました。

国内・海外ネットワーク

（平成16年9月30日現在）

●：国内店舗　●：海外店舗　▲：挙式施設

北海道地区

- ● 札幌店
- ● 函館店
- ▲ アフィーテ函館

東北地区

宮城県
- ● 仙台店
- ● 仙台東口店

関東地区

東京都
- ● 東京グランドプラザ
- ● 銀座サロン
- ● 新宿グランドプラザ
- ● 新宿サロン
- ● 品川店
- ● 虎ノ門店
- ● 麹町店
- ● 竹芝店
- ● 目白店
- ● 立川店
- ● 「ビアンキ スポージ」青山店
- ▲ 目黒雅叙園
- ▲ アフィーテ目黒

神奈川県
- ● 横浜グランドプラザ
- ● 横浜ポートサイド店
- ● ヨコハマスカイ店
- ▲ アフィーテ葉山

千葉県
- ● 千葉店
- ● 千葉ららぽーと店
- ● 千葉みなと店
- ● ユーカリが丘店

埼玉県
- ● さいたま新都心店
- ● 大宮店

甲信越・北陸地区

石川県
- ● 金沢店

東海地区

愛知県
- ● 名古屋グランドプラザ
- ● 名古屋栄店

静岡県
- ▲ 伊豆高原教会

関西地区

京都府
- ● 京都グランドプラザ
- ● 三条店
- ● 東山店
- ● 四条河原町店
- ● 「ワタベファミリークラブ」京都店
- ▲ 下鴨葵邸
- ▲ カーニバルタイムズ

大阪府
- ● 大阪グランドプラザ
- ● 梅田店
- ● 中之島店
- ● 守口店
- ● 大阪IMP店
- ● 「ワタベファミリークラブ」枚方店
- ▲ セント・アヴェンヌ教会
- ▲ ワナファンガーデン

兵庫県
- ● 神戸グランドプラザ
- ● 三ノ宮店
- ▲ みなと異人館
- ▲ 神戸北野サッスーン邸
- ▲ マーチュア・ガーデン神戸

奈良県
- ● 奈良店

滋賀県
- ● 滋賀グランドプラザ
- ● 大津店
- ● 今津店
- ● なぎさ店
- ● 八幡店
- ● 草津店

中国地区

広島県
- ● 広島グランドプラザ
- ● 広島北口店
- ● 「ビアンキ スポージ」広島店

岡山県
- ● 岡山店

九州・沖縄地区

福岡県
- ● 福岡店

鹿児島県
- ● 鹿児島店

沖縄県
- ● 那覇店
- ▲ アクアルーチェ・チャペル

ハワイ

- ● ホノルル店
- ● マウイ店
- ● コナ店
- ▲ コオリナ・チャペル・プレイス・オブ・ジョイ
- ▲ アクアベール フレ・マリーナ・コオリナ・ル・プラージュ
- ▲ ジョン・ドミニス・チャペル・バイ・ザ・シー
- ▲ アロハ・ケ・アクア・チャペル
- ▲ ホ・アオ

北米

- ● ロサンゼルス店
- ● ラスベガス店
- ● バンクーバー店

ヨーロッパ

- ● パリ店
- ● ロンドン店
- ● フィレンツェ店

ミクロネシア

- ● グアム店
- ● サイパン店
- ▲ セント・プロバス・ホーリー・チャペル
- ▲ サンビトレス・ベイサイド・チャペル
- ▲ セント・グレイス・バイ・ザ・シー
- ▲ セント・アンジェロ・チャペル

オセアニア

- ● ゴールドコースト店
- ● シドニー店
- ● ケアンズ店
- ● ハミルトン店
- ● クライストチャーチ店
- ● タヒチ店
- ▲ アヴィカ・ウェディング&リゾート
- ▲ メルストニアン・チャペル
- ▲ サンクチュアリー・コーブ・チャペル

中国

- ● 上海店

株式情報

（平成16年9月30日現在）

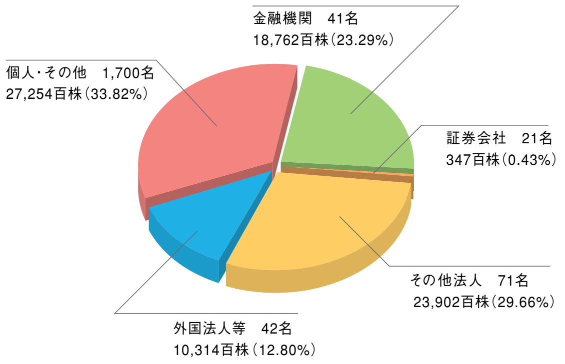
株主の状況

1.会社が発行する株式の総数	22,000,000株
2.発行済株式の総数	8,057,900株
3.株主数	1,875名

4.大株主

株主名	当社への出資状況 持株数（株）	議決権比率（%）
株式会社寿泉	2,005,400	24.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	527,600	6.54
渡部隆夫	293,900	3.64
ワタベウェディング従業員持株会	280,600	3.48
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	265,200	3.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	263,100	3.26
有限会社シュー	200,000	2.48
野村信託銀行株式会社（信託口）	195,900	2.43
渡部泰男	183,000	2.27
渡部義夫	173,300	2.15

〈所有者別分布状況〉



会社概要

（平成16年9月30日現在）

ワタベウェディング株式会社

［本店所在地］
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地

［設立］
昭和39年10月3日

［資本金］
23億727万2,400円

［従業員数］
（単体）　340名
（連結）1,207名
※契約社員は含まれておりません

ハワイ支社
オーストラリア支社

国内関係会社
- アヴィカプロデュース株式会社（※）
- ワタベファミリークラブ株式会社
- イルフィーロ株式会社
- クアント株式会社
- 沖縄ワタベウェディング株式会社
- 株式会社目黒雅叙園
- 東京ファミリークラブ株式会社

海外関係会社
- WATABE U.S.A., INC.
- WATABE AUSTRALIA PTY. LTD.
- WATABE SAIPAN, INC.
- WATABE GUAM, INC.
- WATABE EUROPE S.A.R.L.
- WATABE U.K. LTD.
- WATABE WEDDING CANADA, INC.
- 華徳培婚紗（上海）有限公司
- 上海華徳培唯婷婚礼服務有限公司
- 上海先衆貿易有限公司
- 華徳培婚礼服務（上海）有限公司

※ワタベウェディングは、平成17年1月1日を合併期日として、
アヴィカプロデュースを吸収合併し、同社は解散いたします。

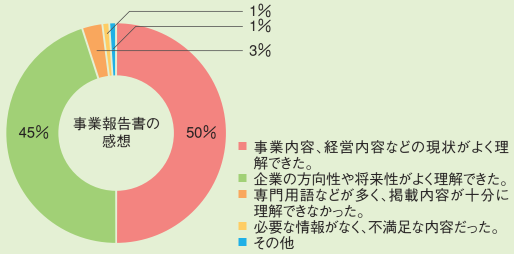
アンケート結果のご報告

当社では、株主の皆様との双方向コミュニケーションの一環として、株主様アンケートを実施しております。本年6月送付の「第40期事業報告書」に同封させていただきましたアンケートにおきまして120名の株主の皆様から貴重なご意見をいただきました。ここに御礼を申し上げますとともに、その結果の一部をご紹介いたします。

アンケート結果の概要（回答者数：120名）

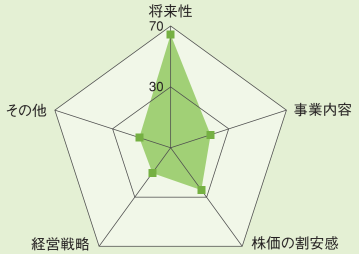
■ 第40期事業報告書の評価

95%の方に、事業報告書を通じて当社の事業内容についてご理解いただきました。

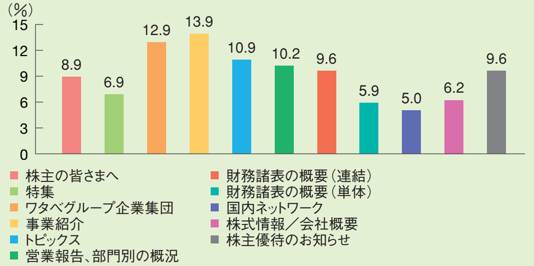


■ 当社に投資された理由

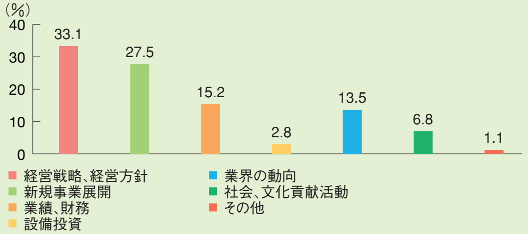
当社に投資された理由として、当社の「将来性」を見込んでが65件で、回答の41.7%を占める結果となりました。



■ 特に興味をもたれた内容



■ 今後期待される情報



当社では、今回のアンケート結果に基づき第41期中間事業報告書の制作に取組みました。今後も株主の皆様の声にひとつでも多くお応えできるよう、より一層の努力をしてまいりますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

《中間事業報告書の内容に関するお問い合わせ先》

ワタベウェディング株式会社　TEL 075-352-4111（代表）
株式課　FAX 075-352-4139

株主メモ

決算期	毎年3月31日（年1回）
定時株主総会	毎年6月中
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 （お問い合わせ先）	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社　大阪支店証券代行部 0120-094-777（通話料無料）
同取次所	UFJ信託銀行株式会社　全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

電話（通話料無料）　0120-244-479（本店証券代行部）
　　　　　　　　　　0120-684-479（大阪支店証券代行部）

インターネットホームページ　http://www.ufjtrustbank.co.jp/

WATABE WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社　〒600-8540　京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
TEL（075）352-4111（代）　FAX（075）352-4139

http://www.watabe-wedding.co.jp